

< 宮城県子ども支援会議とは… >

■東日本大震災直後、復興・物資支援にあたる複数の国際 NGO、県の関連部署が連絡調整を目的として開催した会議です。その後、参加団体は地元の NPO が加わって約 50 団体となり、子ども支援についての情報交換や、心のケアのガイドライン策定などを行ってきました。現在は、月 1 回の会議を行っています。

■震災から時間が経つにつれ、被災した子どもたちや子育て世帯の置かれている状況が各地域でより個別化・複雑化しています。必要とされている支援が、子どもたちのもとへ届くように、本会議を継続して実施していきます。特に、以下の 3 点に重点をおいて活動を行います。

- 1) 県内の子どもたちの実態をより詳しく把握する
- 2) 子どもへのサポートを、よりきめ細かく行える体制を整える
- 3) 子ども支援者が相互にサポートできるネットワークを強化する

< 託児について >

- 対象: 1 歳以上未就学児まで
- 定員: 5 名(先着順 定員になり次第締切)
- 利用料: 1,000 円 (子ども 1 人)
- 申込期間: 2 月 1 日～28 日
- 託児問合せ・申込先: エル・パーク仙台
TEL/022-268-8300
FAX/022-268-8304
URL. <http://www.sendai-1.jp/jbf/>

※申込の際にいただいた個人情報は、託児の事務連絡のため及び個人を特定しない情報として利用します

< パブリック・フォーラムについてのお問い合わせ >

実行委員会事務局 / いしのまき寺子屋

認定 NPO 法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク
asobo@coral.plala.or.jp TEL 070-5324-5213

フォーラムでは…

復興に関わった子どもたちの活動や意見を子どもたち自身が発表する場や、参加団体によるポスターセッション、シンポジウムを企画しています。震災後に「子ども支援会議」が担ってきた活動とその役割を検証等、子どもを視野に入れた防災への提言について、ご来場の皆様と共有したいと考えています。

是非ご参加下さい。

(1) 【子どもの参画】 14:00～16:00

復興に関わった子どもたちが
それぞれの活動や意見を発信 英訳資料

(2) 【ポスターセッション】 16:20～17:20

宮城県子ども支援会議参加団体の
活動発表 通訳

(3) 【シンポジウム】 17:30～19:30

子ども支援会議の成り立ちと果たした役割等の発表、今後起こりうる災害に備えるための提言 通訳

-登壇者-

元 宮城県教育庁義務教育課課長補佐
川田 智佳子 Chikako KAWADA
(現 鹿島台中学校校長)

元 子育て支援課子育て政策専門監
坂内 玲子 Reiko BANNAI
(現 富谷中学校校長)

-コーディネーター-

NPO 法人 チャイルドラインみやぎ
代表理事 小林 純子
Junko KOBAYASHI